

既設構造物直下の液状化対策「曲がり削孔工法」の適用

八並 周一郎¹⁾, 植田 勝紀¹⁾, 猪足 昇²⁾

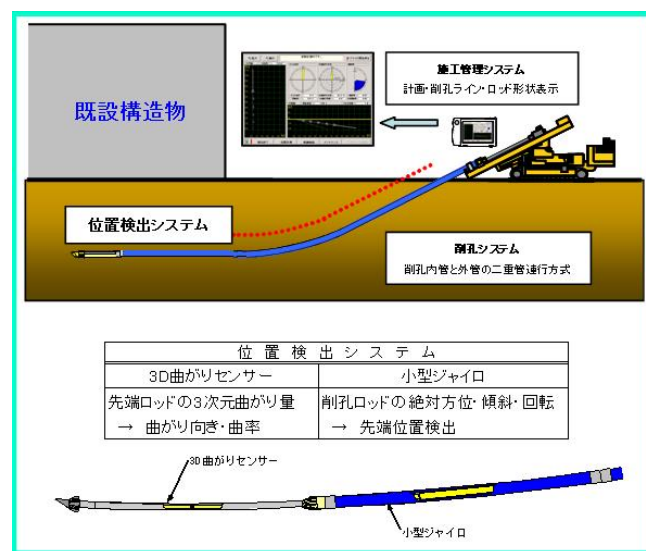
Application of the 3-Dimension-Drilling-Method to Prevent the Liquefaction Under an Established Structure

Syuuichirou Yatsunami¹⁾, Katsunori Ueda¹⁾ and Noboru Inoashi²⁾

■ 要 旨 ■

「曲がり削孔工法」は、既設構造物直下など地上からの施工が困難な地盤を効率的に改良することを目的として開発された。地盤内を3次元的に曲線削孔できる削孔システムによって、上部施設の供用を止めることなく広範囲の地盤を効率的に改良することを可能としている。また、新たに開発した位置検出システムと施工管理システムによって、構造物直下や埋設物等が存在する地盤でも高精度かつ長距離の削孔が可能である。

本工法の実績は、延べ削孔長約 10, 000m、総改良土量約 23, 000 m³におよんだ。本報では、本工法の概要と代表的な 2 件の施工事例がとりまとめられている。



1) 技術研究所

2) 名古屋支店